

報道関係各位

～万葉の時代に中国から渡来したアカヤジオウなど、約 30 種類の初夏の薬用植物を初公開～

みささぎえん
京都薬科大学 薬用植物園「御陵園」
初夏の一般公開を初開催

2019年5月25日（土） 午前の部 10:00～12:00 午後の部 14:00～16:00

京都薬科大学（京都市山科区）は5月25日（土）、学生、地域住民などを対象に薬用植物園「御陵園」の初夏の一般公開を実施します。



初夏の御陵園（2017年6月初旬撮影）

御陵園は2012年に開園し、毎年秋に見学会として一般公開を行っています。今回は、初夏の植物が繁茂・開花する時期に合わせて実施、この時期に一般公開を行うのは初めてとなります。例年5～6月頃は約30種類の植物が見頃を迎え、秋季とは趣の異なる景色をご覧いただくことができます。

当日は、園内の見学エリアごとに本学教員と学生が地域貢献活動の一環として、薬用植物の解説を行い、見学者のご質問などにもお答えする予定です。

普段よく目にする植物や果物が生活の中でどのように生薬として関わっているのかなどを知り、薬用植物を身近に感じていただける機会になっております。

■京都薬科大学 薬用植物園 ^{みささぎえん} 御陵園 初夏の一般公開 概要

日 時：2019年5月25日（土）

午前の部 10:00～12:00（入場は11:30まで）

午後の部 14:00～16:00（入場は15:30まで）

※少雨決行・順延なし

場 所：京都薬科大学 薬用植物園御陵園（京都市山科区御陵中筋町9）

入 園 料 : 無料。事前申込は不要ですので、直接会場にお越しください。

- 注 意 事 項 :
- ・ ペット類を連れての入場はできません。
 - ・ 食べ物、酒類の持ち込みは御遠慮ください。
 - ・ ハイヒールでの御入園は御遠慮ください。
 - ・ 駐車場・駐輪場は有りません。公共交通機関をご利用ください。

【京都薬科大学 薬用植物園「御陵園」について】

本学は薬用植物園として、本園（京都市伏見区、約 13,000 m²）と御陵園を設置しています。

御陵園は、2012 年に学生が薬用植物について学ぶ見本園として設置しました。面積約 2,700 m²の敷地には田畑や熱帯植物を栽培する温室、水生植物を栽培する池、庭園があります。園内には生薬の基原となる様々な薬用植物約 300 種を植栽しており、それらの形態的特徴や利用部位を学生が観察する実習などを行っています。

2014 年からは秋の一般公開を開催、地域を対象に見学会を行うなど、薬用植物に関する知識を広く普及・啓発するための活動も実施しています。

【初夏の御陵園で見られる薬用植物の一例】

※気候条件などにより、見学会当日に開花していない可能性があります。ご了承ください。



アカヤジオウ（赤矢地黄）

※写真は近縁種のカイケイジオウ

6~7 月頃に美しい紅紫色の筒状の花が咲きます。根は、滋陰（体を潤す）・清熱（不要な熱を取り除く）作用などを目的に生薬（地黄）として用いられます。



トウキ（当帰）

6~8 月頃にかけて白い小花をつけます。根は、補血（血の不足を補う）・強壯作用などを目的に生薬（当帰）として用いられます。また、葉はセロリのような香りがあり、入浴剤などに用いられています。

【会場案内地図】（住所：京都市山科区御陵中筋町 9）



JR[山科]駅・地下鉄東西線[山科]駅・京阪[山科]駅より西へ徒歩約15分

【本件に関するお問い合わせ先】

京都薬科大学 事務局 企画・広報課

担当：川勝・谷垣

〒607-8414 京都市山科区御陵中内町 5

TEL:075-595-4691 FAX:075-595-4750

E-mail:kikaku@mb.kyoto-phu.ac.jp